

平成25年度第4回大津町振興総合計画等評価委員会 議事録

1. 日 時：平成26年2月28日（金）午後1時30分～午後4時50分

2. 場 所：大津町役場 4階大会議室

3. 議題等

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 議事

1) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

総務部（人権推進課・住民課・税務課・総務課）議会事務局

企画部（企業誘致課・企画課）

2) その他

4. 出席委員等

関係団体等	氏 名	備 考
学識経験者（熊本県立大学教授） ※委員長	明石 照久	出席
大津町民生委員・児童委員協議会会長 ※副委員長	吉田 和信	出席
大津町企業連絡協議会会長	池松 康博	出席
大津町区長会会長	緒方 祐二	出席
女性グループ（大津町女性の会会長）	坂本 晶江	出席
公募委員	清水 活代	出席
大津町教育委員	首藤 誠治	欠席
公募委員	田中 玲子	出席
J A 菊池大津中央支所	徳永 浩二	出席
障害者関係団体（大津町身障者福祉会）	中村 静次	出席
商工会（商工会理事・青年部長）	西川 秀貢	欠席
肥後おおづ観光協会	山下 和貴	出席

（五十音順）

5. 委員会傍聴人 0名

(1)開会

(2)委員長挨拶

(3)議事 1) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

議会事務局 (P 6 2～6 4について) 議会事務局長より説明。

(意見なし)

人権推進課 (P 4～9について) 人権推進課長より説明。

清水委員 7ページの成果指標、各種事業ボランティアの人数ですが、平成25年度は5人ですが、もっとボランティアを集める方法はありませんか。5人は少ないと思いませんか。

人権推進課長 すみません。各種事業ボランティアということで高齢者の一人世帯の見回り等をお願いしていますが、ボランティアの方も高齢化してきていて、年々、数が減ってきています。

清水委員 どういう方法で募集しているのですか。

人権推進課長 現在は口コミでやっていますが、広報紙あたりの活用も考えていきたいと思います。

清水委員 お年寄りのところを回る元気なお年寄りの方はいくらでもいます。だから、そういう人に声をかけて、一人暮らしの高齢者を見回ってもらったほうがいいと思いませんか。一人暮らしの高齢者はいっぱいいます。話し相手もないし、一人で部屋にこもっているので、認知症になってしまいます。だから、ボランティアをもっと増やしてください。私たちもやりますので、どんどん広報にも募集を載せていただければ、元気なお年寄りはたくさんいらっしゃると思いますので、そういう方が応募されると思います。どんどん進めていただくをお願いします。

人権推進課長 わかりました。努力したいと思います。

住民課 (P 1 3～1 5、P 4 3～4 5について) 住民課長より説明。

池松委員 成果指標に町営住宅入居者の満足度がありますが、一点目は、アンケート対象者について、満足度の捉え方、分母と分子、回収率は何%かを教えていただきたいと思います。

住民課長 平川天神団地と矢護川団地は12戸ずつですので、分母は24です。全戸回収していますので、分子は24戸です。

池松委員 回収率100%ということですね。その中で71%の方が満足されているということですね。

住民課長 そうです。

山下委員 公営住宅入居者の平均入居年数のデータはお持ちですか。

住民課長 はい。入居年数は10年以上が62%です。そのうち31%が20年以上です。

山下委員 このあたりの対策は何か考えられていますか。

住民課長 高齢化しているということをとらえるのか、終の棲家としてとらえるのか、いろいろなとらえ方はありますが、入居者の中には、終の棲家としてとらえられている方も多いのではないかと思います。関係部署と連携をとりながら、見守っていくということも取り組まなければならないと考えています。安心安全な住宅環境の提供ということでそういう考えを持っています。

山下委員 詳しくないのでよくわかりませんが、公営住宅というのは、高齢者の終の棲家ということを目的にされているのですか。

住民課長 収入が増えるまでの5～10年という捉え方で公営住宅がスタートとしたと思いますが、時代の流れの中で、終の棲家という認識があれば、そういった対応も必要ではないかと考えています。

坂本委員 平川天神団地と矢護川団地はそもそも少子高齢化対策のために作られて子どもがいる世帯を優先されたと思いますが、その方たちがそのまま住んでいるということですか。

住民課長 意向調査を兼ねて、昨年、入居者にアンケートをとりました。別の団地をお探ししますというご相談を町のほうから持ちかけた状況はあります。その中で検討されているというご回答もありますので、継続中です。

坂本委員 団地を作った目的とは違ってきているということですか。

住民課長 委員がおっしゃられたような目的もありました。

坂本委員 その方たちがそのまま入居されている状況なのですか。

住民課長 その方たちも町営住宅の入居者として地域コミュニティに溶け込まれています。地域の一員として、いろいろなことをされていますし、地域の方からもその方たちにいてもらいたいというご意見があっています。

山下委員 町営住宅も20年以上経ちますと老朽化しますが、老朽化すると居住権がありますので、その建物を新しくしてほしいという発想に変わられませんか。

住民課長 そういう要望はありません。

山下委員 これから先はどうでしょうか。

住民課長 町営住宅については、ストック計画で外壁や屋根の改修などを年次計画でやっています。それに伴う説明をする中では、そういう要望はないようです。例えば、あけぼの団地の改修で、内装も一緒に改修という話をしましたが、部屋を空けるよりも、外壁だけでいいというお話しでした。

山下委員 住宅の場合、耐用年数や耐震対策などもありますが、そのあたりはどう考えていらっしゃいますか。

住民課長 耐震については、調べて回答します。

坂本委員 大津町の場合、町営住宅は何戸くらいあるのですか。

住民課長 882戸です。

委員長 公営住宅関係はほかよろしいですか。それでは、窓口関係に対して、ご質問、ご意見等ありましたら、よろしくお願いいたします。

田中委員 成果指標の窓口サービスの住民満足度ですが、目標値の75%というのは、何に対する75%ですか。

住民課長 アンケートをとりまして、その中で満足をした、すごく満足をしたというのが、今年度の実績では72%ということです。27年度までには、75%まで高めたいということで

設定をさせていただいています。

委員長 ほかが質問ご意見はよろしいですか。ないようでしたら、住民課関係はこの程度にとどめさせていただきます。ありがとうございました。

税務課 (P 54～56について) 税務課長より説明。

委員長 それでは、税務課関係、ご説明をいただいたとおりでございます。ただいまのご説明に対して、ご質問、ご意見等ありましたら、よろしくお願いいたします。

田中委員 町民税が上がるという話を聞きましたが、どのくらい上がるのですか。

税務課長 これは税制改正で2年前に決まっております、均等割で町の分が500円、県の分が500円上がります。東北の大震災がありましたので、防災関係に充てられます。これは10年間続きます。

山下委員 10年経ったら元に戻るのですか。

税務課長 今のところは10年間です。ご存じとは思いますが、それとは別に、所得税も2.1%、復興税ということで、25年から始まっています。これについては、5月か6月の町の広報紙できちんとお知らせします。

委員長 ほかが意見がないようでしたら先に進めさせていただきます。ありがとうございました。

総務課 (P 10～12、P 16～29について) 総務課長より説明。

委員長 ここまでの事業でご意見ご質問ありましたら、よろしくお願いいたします。

緒方委員 男女共同参画の促進について、今は65の行政区がありますが、女性の区長はいらっしゃいません。行政区嘱託員を兼ねていますので、個人宅への訪問することがあります。家を尋ねても、中々出てこれません。今回、区長に町から名札を作ってもらいました。このような希薄化した社会で、女性区長3人という目標を立てられています。

総務課長 3人という数字は、3人くらいはいただければ、ありがたいなというものです。別段、割合とかそういうものから出したものではありません。ただ、お願いしたいのは、区長さんを決めたりするときに、最初から男性でないといけないという雰囲気も見受けられますので、女性の区長でもいいですよということです。結果的に男性になるという場合もあると思いますが、最初から男性でないと無理だということは止めていただきたいとお願いしているところです。

田中委員 消防・防災の推進について、先日、「かたらんね！地域防災」の会議に参加させていただきましたが、その時に、平成24年の水害の真木地区の話が出て、区長さんが地域の方を非難させたという話を聞きました。その時に町からの警告はなかったのですか。

総務課長 私もその会議に参加して、その時にも説明させていただきましたが、町では全く真木地区の状況を把握できていませんでした。後で区長さんが避難させたという話を聞きましたが、あの惨状を見ると、避難をしていただかなければ、犠牲者が出ていたのではないかと思います。その反省も踏まえて、当然、町が避難勧告を出して、避難していただくのがいいのですが、あの現状を見れば、まずは自分たちで判断して避難していただかないと、町が避難勧告をしてから逃げるのでは遅すぎるというのが、防災を担当するものとして強く

思ったところですよ。当時、真木地区があのようになっていたというのは、わからなかったというのが実情です。

田中委員 災害のときに避難するための基準はあるのですか。

総務課長 白川水系や矢護川水系など、河川のあるところについては、警戒水域を超えたら、避難勧告をするということで、中島区や阿原目地区には、避難勧告を出しましたが、真木区のように矢護川の上流部については、そういう基準がありません。

田中委員 あの水害を教訓に見直されたのですか。

総務課長 避難勧告を出す基準は当然設けていますが、実際に被害が出るかどうかの判断は非常に難しいので、阿蘇市あたりは警報が出る前に前日から避難をされています。今見直しているのは、そういう方法はとれないか検討しているところです。

緒方委員 避難勧告はありますが、大津町で避難指示を出したことはありますか。

総務課長 避難指示を出したことはありません。

緒方委員 地域防犯体制の強化について、私も室小校区で7時10分から8時10分までの1時間運動をしています。室小の先生や前教育長には、話をしましたが、犬の散歩をしている方が通学時にはたくさんいらっしゃいます。読売新聞の記事では、熊本市の尾ノ上校区で、犬の散歩をされている方をお願いして、散歩中に子どもたちの見守り活動に取り組む「わんわんパトロール隊」というユニークな取り組みをされているということです。こういった方を利用するなど、何か考えていらっしゃることはありませんか。私も小学校の先生方に提案していますが、予算がかかりますので、何かの機会に役場に相談してみますと話しています。何かのときに考えていただければと思います。

総務部長 わかりました。検討させていただきます。

清水委員 交通安全施設整備の推進について、私は自転車で買い物によく行きますが、小学生が左側でなく、道の真ん中を通っています。そういう指導はしていないのですか。小学生が前にいるとふらふらしているから、年寄りが後ろから行くと前に進めません。そういうのはきちんと伝えたほうがいいと思います。何か起きてからでは遅いのでよろしくお願いします。

総務部長 中学生は自転車が朝夕の通学に認められていますので、学校で交通指導をされているのですが…

清水委員 中学生はいいです。小学生がひどいです。

総務課長 そういう話があったということで、教育委員会を通じて、自転車の左側通行の話をしたいと思います。

清水委員 よろしくをお願いします。

緒方委員 関連して、田舎のほうを運転していると、80歳を超えたような高齢の方が原付バイクに乗られています。そういう方がたくさんいらっしゃいます。なぜかといえば、野良仕事に行くのに歩いてはいけないからです。原付バイクは危なくて、人に迷惑をかけます。そういう人に免許の返納命令は出せないのですか。

委員長 それは無理です。根拠がありません。

緒方委員 だから家族に対して、指導か何かできないかと思います。高齢者を対象とした交通安全教室をされているということですが、そういう方は来られないと思います。何かいい方法はないかと思い、お話ししました。

総務課長 免許証の返納命令は出せないと思いますので、家族の方の協力で自主返納をしてもらうとか、町としては、そういう呼びかけくらいしかできないと思います。

緒方委員 広報紙あたりでも取り上げてほしいと思います。本当に危ないです。

山下委員 交通安全教育・意識啓発の推進について、交通事故死者の内容を教えてください。

総務課長 (内容・状況等について説明)

山下委員 話がずれるかもしれませんが、私はセミコンテクノパークに入居してまして、就業者数も多く、朝夕の通勤時間帯は渋滞が激しいです。それぞれの企業が独自に管理しようとしても全体を把握できないということがあって、その企業連絡協議会をベースに朝夕の通勤時間にそれぞれの企業から出ていただいて、パトロールをやっています。何をやっているかといいますと、会社というのは、従業員が通勤経路を報告するという義務がありまして、通勤経路で事故が起きた場合、会社の業務中として取り扱われますが、通勤経路外になると非常に問題も大きくなります。住民の方とトラブルを起こしやすいのは、通勤経路外で、通学路に車が入って、近道をしようとする車が多いということがありました。協議会をベースにパトロール活動をやっていきましたら、相当改善されました。それが元で幹線は渋滞しましたが、県が渋滞を解消するために道路の拡幅などをやってくれて、非常にいい反応をおこしたということがありました。交通事故の防止には、非常に役立ったのではないかと思います。大津町にも企業連絡協議会がありますし、どれほどできるかわかりませんが、交通事故軽減の一助になればと思い、事例を紹介させていただきました。

総務課長 今おっしゃっていただきましたように大津町にも企業連絡協議会がありますので、ぜひとも連携しながら、交通事故を少しでも減らしていけるよう取り組みたいと思います。ありがとうございました。

委員長 消費生活の安全強化について、大津町では、消費生活関係の被害は現実として発生しているのですか。

総務課長 25年度の被害は聞いていませんが、24年度は実際に振り込め詐欺の被害が出ています。

委員長 ありがとうございます。ほか、ご質問ご意見はよろしいでしょうか。

総務課 (P33～34、P38～42、P46～47、P51～53、P60～61について)
総務課長より説明。

委員長 総務課関係でご意見ご質問ありましたら、よろしくお願いいたします。

吉田委員 行政区の再編について、大津小から美咲野小が別にできて、後迫区と上大津区が美咲野小にも入りました。区長さんが両方から通知を受けて、ご苦労がっているのを聞いています。そういう意味では、必要なところを見ながらできるだけ早く再編を進めていただきたいと思います。併せて、アパートやマンションに住んでいる方で行政区や組に入りたくない方が結構いらっしやと感じます。行政サービスの停滞もあるかもしれないし、地域でのつながりが必要だと言いながら、その一区画が誰も出てこないということがあります。その働きかけや組織を作っていくことなどは、行政嘱託員の努力義務になるのですか。

総務課 おっしゃるように行政区は線引きをしていますが、実際は組とかに入らないと広報紙などが届かないということがあります。開発行為で業者さんには、特にアパートを建てられ

るときには、組に入ってもらよう話をしています。転入されて来られる方についても、行政区を説明し、行政区嘱託員の方のお名前もお知らせしていますが、現実としては、組には入りたくないという方がいらっしゃると思いますので、そういうアパートも見受けられるのが実情だと思います。その点については、課題も大きいのですが、これといった解決策を持ち合わせていないのが現状です。

池松委員 職員の定員管理で定員数が219人に対して、職員数が205人ということで、1人あたりの負荷があるのではと思いますが、その中で、努力されているのはうかがえると思っています。そういう中で、職員の年齢層を見ると45歳以上の職員がかなり占めていると聞いています。そういう意味では、今後、職員採用が行われると思いますが、コンプライアンス研修と併せて、様々な研修があると思います。そういう中で研修の体系マニュアルとか階層別教育とか一定のシステムはあると思いますが、役場では3年おきに異動するという難しい問題もあり、このあたりは今後の大きな課題だと思います。このあたりをお聞かせいただければと思います。

総務課長 職員について、年齢に偏りがあるというのは事実です。現在の課長以上の幹部職員はあと3年で退職する職員がほとんどです。30名ぐらいの幹部があと3年で退職しますので、次世代の育成をもう少し早めに取り組むべきだったと反省をしているところです。階層別の研修については、今までは外部の町村会研修ということで、係長級など県内の町村と同じような研修をやってきましたが、もう少し、年齢や階層に応じた研修をやっていく必要があるということで、遅ればせながらということで申し訳ありませんが、26年度からやるということで予算を組んでいます。

池松委員 そういう中で、企業とかでは専門職の育成に注力していますが、今の環境でいえば、専門性を強化していくのも、時代背景の中で重要なことかなと思います。そういう意味でしっかりと体系づけて、教育をされることが次の時代につながる大きな力になるのではないかと思います。よろしくお願いします。

総務課長 ありがとうございます。

山下委員 地方自治体の中での職員のあり方というのがあると思いますが、隣の菊池市では職員の方が地域住民の中でいろんな意見を述べたり、前向きなことやったりするのにもっとも大きな集団だという捉え方があります。若い人たちの意見をどうやって取り組むかということで地域の宝物探しのようなことをやっておられます。要は自主的に自分たちが地域の中に入り込んで、意見を聞いたり、発見したりしたものを広報などで発信するというをやっておられて、すごいなと思いました。スマホでとってSNSで流すなど、いろんなことがあります。行政の中には、管理上きちんと漏れがないようにしなければいけない部分と地域を活性化するために夢を語るような部分もあって、夢を語る部分は中々難しいと思いますが、そういうことに大津町でも取り組めるようにしたら、大津町に住むのはいいことかなということにもつながると思います。205人の職員がいらっしゃいますので、総務課が中心となって、このあたりの啓もう活動をやられたら、大津町はおもしろいところだということにつながると思います。

委員長 ほかよろしいでしょうか。ありがとうございました。

(休憩)

委員長 町営住宅の耐震化について、ご報告があるということですのでよろしくお願いします。

住民課長 先ほどご質問のありました耐震については、町で調査は行っておりませんが、昭和53年から昭和56年に建設された町営住宅は、全国同じ構造で建築をしています。国が同じ構造の代表的に公営住宅の耐震調査をしたところで、強度についてはクリアしているということで県から連絡を受けています。簡易耐火構造のものもありますが、町営住宅につきましては、公営住宅の標準設計で建築をされていますので、こちら強度については、強度をクリアしています。以上のことから、大津町における公営住宅の耐震強度はクリアしていますので、ご報告いたします。

委員長 委員の皆様方よろしいでしょうか。ありがとうございました。休憩前に引き続き、説明をつづけさせていただきます。残りは企画部関係が残っています。まず、企業誘致課からご説明をお願いいたします。

企業誘致課 (P1～3について) 企業誘致課長より説明。

委員長 企業誘致課関係、以上のとおりご説明をいただきましたが、ただいまのご説明に対して、ご質問ご意見ありましたらよろしくお願いします。
(意見なし)

委員長 よろしいでしょうか。特にご質問、ご意見はないようですので、先に進めさせていただきます。ありがとうございました。最後に企画課関係、ご説明をお願いいたします。

企画課 (P30～32、P35～37、P48～50、P57～59、P65～67について)
企画課長より説明。

委員長 ありがとうございました。企画課関係、以上のとおり、ご説明をいただきましたが、ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見ありましたらよろしくお願いします。

緒方委員 内容が少しずれるかもしれませんが、県民手帳を見ましたら、財政力指数が平成23年度の値で、大津町が0.789、菊陽町が0.921、大津町が県内で1番だと思っていました。いつ菊陽町に追い越されたのかと今の数字を教えてください。

企画課長 いつ追い越されたかということは、確認しないとはっきりわかりませんが、リーマンショック前までは、普通交付税の不交付団体ということで大津町が1番でした。リーマンショック後法人税がガクンと落ちました。平成21～22年くらいには、逆転していたかもしれませんが、菊陽町は、光の森の都市開発も進んでいまして、建物等も出来ていますので、そういった固定資産税が安定的に入ってきますので、菊陽町のほうが安定的な財政運営ができています。

緒方委員 大型店舗や娯楽施設が多いところが潤うということですか。

企画課長 建物が多い方が固定資産税は多く入るということです。また、地価も高いので、そういったところも含めて、菊陽町のほうが固定資産税は多く入ってきています。

緒方委員 地域コミュニティの活性化について、校区别スポーツ振興会で、私は室スポーツ振興会副会長をやっていますが、役員が行政区ごとの持ち回りで会長職と事務局が回ってきます。

社会というのは、子供がいて、若い人がいて、働き盛りの人がいて、高齢者がいて、成り立つと思いますが、若い人や働き盛りの人が全然いません。高齢者の中から役員を選べと言われても、引き受ける人がいません。

企画課長 町全体が高齢化していく中で、役職のなり手、あるいは地域づくりの担い手が育っていないというお話しだと思いますが、これは大津町だけの問題ではなくて、例えば、町営住宅ではありませんが、武蔵ヶ丘団地あたりも非常に高齢化しているということで、新たな問題として浮上してきています。これも新たな行政課題ということで、我々もどうしたらいいか研究をしている段階で、どうしたらいいかという結論には至っていませんが、基本的には地域福祉あたりでの維持を図っていくしかないのかなと思っています。後は都市開発の関係で新たに住宅地を造るとか、新たな開発をすれば、新たな人も入ってくるかもしれない。難しい問題ですが、もう少し検討させていただきたいと思います。

緒方区長 強い意見ですが、なり手がいないので、スポーツ振興会を脱会しようという意見もあります。今度のグランドゴルフ大会でも、出る人がいなくて困っています。

委員長 他に全体を通して何かありませんか。

山下委員 企画課というのは、企業で言えば、経営企画のようなものですよね。そういった役割で見たときに、大津町の未来図、首長が変われば、政策は変わってくる部分もあると思いますが、町としての基本的なベース、地域の連携という話もありましたが、菊陽と大津がうんぬんという話もあると思います。そういう中で議論するとか、考える時期に来ているのかなという感じがします。首長が変わって指示があってからやるのではなくて、町全体の経営企画としては、提案になるかどうかわかりませんが、例えば、考える会などもあっていいのかなと思います。

田中委員 細かいことですが、配布資料で文字が入らずに見えないところが多々あります。きちんとした書類を出していただきたいと思います。

企画課長 申し訳ございません。

委員長 ほか、よろしいでしょうか。それでは、ご質問、ご意見がないようですので、24事業ということで、たいへんご苦勞をおかけしました。どうもお疲れ様でした。その他ということで、事務局から何かご連絡がありましたらお願いします。

事務局 第4回目ということで、今まで貴重なご議論ありがとうございました。25年度につきましては、最後に第5回目を予定してしまして、皆様のお手元にはお配りしていますが、3月26日の午後開催ということで調整をさせていただければと考えています。最終的には、第5回目に第4回目までの議論いただいた内容と評価を報告書ということでとりまとめさせていただいて、第5回目に町長への報告ということでとりまとめたいと考えています。従いまして、今日の評価調書につきましては、次回の会議でなく、3月中旬を目途にお配りしています封筒で返送していただければと考えています。以上よろしくをお願いします。

委員長 それでは、3月26日の第5回目の会議で町長に報告させていただくということで、進めさせていただきます。報告書の文章とか細かいところについて、もう一度皆様にご確認いただくのは、日程的に非常に難しいと思いますので、調製につきましては、委員長と事務局にお任せいただくということでよろしいでしょうか。

委員 (はい)

委員長 それでは、第5回目は3月26日の午後1時からということでよろしくお願いします。
それでは、ほか特にないようでしたら、本日は長時間にわたり、ありがとうございました。
これをもって、閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。